

金沢SDGsミライ対話 《参加者ガイド》

SDGs (持続可能な開発目標) って?

「誰一人、取り残されない」世界を実現するため、2030年までに世界で実現したい17のゴールがまとめられたものです。今、SDGsに向けて世界の全ての国が、政府も企業も地域も動き出しています。



金沢でも...

気候変動による荒天、子どもの貧困、高齢者の孤立、感染症拡大の影響、地域文化の衰退など身近なところで、多くの問題が起きています。

誰もが幸せな暮らしができる地域をどう実現し、続けていくのか。SDGsには、これからの金沢を考えるヒントがたくさんあります。

そこで、2030年の金沢を地域のみなさんで考え、パートナーシップで持続可能な金沢を実現するため、**金沢SDGs IMAGINE KANAZAWA 2030** が始まりました。



「いつか、だれかが」から、「いま、わたしが」へ

IMAGINE KANAZAWA 2030では、金沢でSDGsを推進する行動について、行政、市民、企業、学生、各分野の専門家などによる対話を通して考えてきました。そこから生まれたのが、金沢の「いま」と「みらい」の当事者の声からできたSDGs推進のアイデア集、**金沢ミライシナリオ**です。金沢の持続可能な未来を実現するための5つのシナリオと、それぞれの目標、取り組むこと、実践アイデアがまとめられています。

いよいよあなたの番です!

金沢SDGs ミライ対話

職場で、地域で、学校で、家庭で、誰かとつながって、いま、わたしの考えていることから「これから、わたしたちが共に動くこと」を考えてみませんか

第1部 想像してみよう!

2030年 私のウェルビーイング

2030年のウェルビーイング=身体的・精神的・社会的に満たされた“幸せな自分”を考え、それを支える地域の姿を金沢ミライシナリオから考えます。その未来と今のギャップから、“今のまま”ではなく、変わる必要があることを話し合います。



第2部 一緒に考えよう!

2030年に向けて私たちのできること

ミライシナリオから「実現したい未来」と、その未来に対する「現状の課題、変えたいこと」を話し合います。現状を未来に変えるため、「私(たち)の強み」を活かした「2030年へのアクション」を考え、それを加速するパートナーや地域資源を考えます。



第3部 一緒に動きだそう!

2030年へのパートナーシップ

2030年へのアクションが金沢で増え、広がると、私たちの暮らしや仕事、活動はどう変わるでしょうか? 金沢と私が共に持続可能な世界に踏み出しましょう!



想像してみよう！ 2030年 私のウェルビーイング

1. 2030年、身体的にも、精神的にも、社会的にも満たされている“幸せな自分”って？

暮らし方、ライフスタイルは？大切にしていることは？	家族、友人と何をしています？
仕事や社会活動は？やりがいは？	どのようなつながり、ネットワークがある？

2. “2030年の幸せな自分”は、どんな街なら実現できるのだろう？

「金沢ミライシナリオ」から考えてみよう

- ① 「金沢ミライシナリオ」を読み、自分の未来のためにも、こうなってほしい、これが広がる
といいなと思うこと（文、キーワード、フレーズ）を、書き出してみよう。
- ② ・③ 「こうなってほしい、これが広がったらいいと思うこと」と「今の金沢」では、どのよ
うなギャップがあるか、考えてみよう。（まだない、あるが限られている、今のままでは無理など）

①こうなってほしい、これが広がったらいいなと思 うこと	②目指す姿に対して 今の金沢は何点？	③その理由(理想と現実のギャップに なっていること)
	／100	
	／100	
	／100	
	／100	

3. 「金沢ミライシナリオ」に描かれた未来やアクションを実現するには？

- ① 「金沢ミライシナリオ」に描かれた未来やアクションを実現するには、
“今のまま”ではなく、何が、どう変わる事が大切なのだろう？

- ② 金沢ミライシナリオを実現するため、①で考えた変化を起こすために、金沢の人達や
専門家の方たちと話してみたいこと、一緒に考えたいこと、チャレンジしたいことは？

一緒に考えよう！ 2030年に向けて私たちのできること

1. ミライシナリオを使って  「2030年に実現したい未来」を考えよう。
2. 「実現したい未来」に対して金沢の現状を考えた時、  「課題、変えていきたい」と思うことは何だろう？
3. 私（もしくは私の地域・組織）の  「得意、推したいこと」は何だろう？
4.  「実現したい未来」へ、  「課題」×  「私（たち）の強み」から、私（たち）がチャレンジしたい  「2030年へのアクション」は？
5. アクションを加速させるため、  「連携したい人・組織、活用したい地域資源」は？

2030年に実現したい未来
(金沢ミライシナリオより)



2030年へ！ 私たちのSDGsアクション

連携したい人・組織、
活用したい地域資源
(アクションを加速させる肥料)



私(たち)の得意、
組織・地域の推し
(アクションを育てる水)

もの、産品、
施設、場所
制度・仕組み

人、思い
経験、ノウハウ
ネットワーク

私たちが課題、
変えていきたい
と思う現状
(アクションの芽)

一緒に動きだそう！ 2030年へのパートナーシップ

今、金沢全体でSDGsへの動きが始まっています。私たちのアクションも他のアクションと連動・協働することによって、相乗効果を生み出すことができます。情報を検索したり、地域で動いている人達に紹介してもらい、金沢で始まっている、考えられているアクションの情報を集めてみましょう。

1. 金沢で始まっている、考えられているアクションには、どのようなものがあるだろう？ そのアクションと私(たち)のアクションが共有できる・補完しあえることは何だろう？

金沢で始まっている・考えられているアクション	私(たち)のアクションと共有・補完できること

例) 私：子どもの読書活動 地域：プログラミング教育

共有：対象が学習機会の少ない子どもたち
補完：プログラミングの論理力は読書で育める



2. 他のアクションと協働・連携することで、私(たち)のアクションの持つ可能性を、どのように広げることができるだろう？

私(たち)のアクション × 他との協働・連携によって…



他の活動を通して届けることができる新しい人たちは？

活動内容の幅を広げたり、質を高めたりできることは？

個別にアプローチするよりも増やせる協力者、賛同者は？

3. SDGsへの動きが動き、広がることで、金沢に、どんなワクワクが生まれるだろう？ 私自身も、どのような新しい暮らし、仕事や活動に変わっていけるだろう？

金沢に生まれそうなワクワク！
(こんな人がワクワク・こんなことでワクワク)



そのワクワクした未来に向かって私のなになが、どう変わっていくのだろう？